

おたより 56号

私のひとりごと

石丸博巳

4年程前にこの「おたより」の中にセイタカアワダチソウの事を書きました。今の季節、堤防が黄色く染まって、私の好きな春の「菜の花」みたいに思って、でも外国から入ってきてあまりに増えることが心配で書きました。

今もその季節です。でも、その時より何倍も黄色い色が増えてきているように思えます。車で走っていると川沿いの堤防がほとんど黄色く染まっているように見えます。



情けないことに、今は何事も弱く感じる日本です。植物の世界も、もちろんブラックバスなどの魚だって、在来の日本種を食いつぶしていつてしまうように感じてなりません。

本当に「がんばれニッポン」です。

車で走っていると、同じように目につくのがそばの花です。先日、新聞に福井県のそば栽培が日本一だと書いてありました。そして福井県で坂井市が一番だそうです。ということは坂井市が日本で一番そばの生産高が多いということですね。日本一おいしいおろしそばを、日本一の坂井市のそばで食べれるなんて本当に幸せです。

でも、そのそば畑のそばを通ると車の中がいやに臭くなってきます。最初は靴の裏に犬の糞などを踏みつけてきたのかななんて思っていたのですが、その新聞でそばの花が臭いことを初めて知りました。

臭いことは仕方がないです。そろそろ収穫の美味しいおろしそばを早く食べたいですね。

住宅の平均寿命

各国の住宅の平均寿命をご存知ですか？

アメリカは約65年、イギリスが約80年、一般的に欧州は寿命が長いですね。でも、日本は約27年でアメリカの半分以下です。

「一世代に1住宅」で「建てては壊し」の繰り返しをしてきました。それは、今までの家づくりが質より量を優先してきたことにあるそうです。そして住宅の資産価値も20年でゼロになってしまうという状況が続いてきました。

現在は資源の有効利用や良質な中古住宅を市場に出回らせるために、国は平均寿命を延ばせるような良質住宅の普及に努めようとしています。私たちもエアサイクルの家の建築で、住宅の平均寿命を延ばせるように頑張っていきます。

今月の写真紹介

水回りリフォーム
三国町新宿 竹松和司様



お話を伺って

築後28年が経った家です。お子様も皆さん独立されて、家から巣立っていかれました。

定年を迎えて、「この家で我慢すればいいかな…」なんて思っておられた

今までの台所・食堂みたいですが、のんびりと暮らすために、台所とお風呂のリフォームを決意されました。

台所と食堂が別の部屋で、28年前の頃にはかなり新しい感覚だったとは思いますが、今度は対面式のオープン的なキッチンにしました。

「壁を見ながらひとりで調理をするのが、なんとなくさみしく感じていましたが、対面式にして部屋全体を見回せるスタイルが、一人でも心を明るくしてくれます。」と奥様が話してくれました。

また、タイル貼りのお風呂はタカラのシステムバスで1.25坪のちょっとゆとりのあるものに取り換えました。

「冬、本当に寒かったお風呂でしたが、まだそんなに寒くはないですが、入った感じが温かく感じるし、これからが楽しみです。」とお話していました。

「まだそんなに痛んでいないので勿体ないとも思ったけど、思い切ってリフォームしてこれからの暮らしも楽しみに思えてきます」と、笑顔でお話してくれました。

石丸



子育て世代の健康住宅作りを応援します

有限会社 **石丸ハウスセンター** TEL 82-5533
一級建築士事務所 FAX 82-5537

〒913-0044 福井県坂井市三国町山王4丁目5- ホームページ <http://ishimaru-housecenter.co.jp>

イベント案内

私たちのような零細の工務店では、いろんなイベントを企画しようと思っても、人的な問題などでなかなか開催することができません。でも今年も見学会などを行うことができました。すぐにはできませんが、楽しいことは考えています！お楽しみに！